

社会貢献の一貫として骨髄ドナー休暇を制度化

取組の  
ポイント

- 日本骨髄バンクからのドナー特別休暇制度の導入を要請する文書が届いたことがきっかけで、会社の経営理念とも合致していたこともあり、「骨髄ドナー休暇」が特別休暇に追加された。
- 骨髄ドナー休暇制度は、勤続1年以上の正社員、常勤嘱託社員、臨時社員が対象で、最大で10日（有給で）付与される。



平成29年新入社員向け講演会での骨髄移植経験者による講演の様子

## 取組の目的・概要

- 同社は、平成27年8月に骨髄ドナー休暇制度を導入した。同社は、国内外に拠点や工場を有し、グループ全体で社員数約5,000人を数える医療機器メーカーである。
- 導入のきっかけは、日本骨髄バンクからのドナー特別休暇制度の導入を要請する文書が届き、同社の経営理念とも合致していたため、執行役員人事部長が中心となって検討を始めた。
- 同年11月には、日本骨髄バンクを介して移植を受け、元気になった移植経験者の講演会を開催するなど、制度を導入しただけではなく、社員の骨髄バンクへの理解を醸成した。
- さらに、翌平成28年の新入社員研修プログラムで「骨髄バンク講演会」を実施した。この講演を通じて若年ドナーの登録が緊急課題であると知り、若い人に伝えて真剣に取り組むべきことであるとの認識から、平成29年と平成30年にも新入社員研修で講演会を開催した。
- 同社は、社員のドナー登録が増えて、骨髄ドナー休暇を利用して提供者が増えることを願い、本社や工場で行っている献血会に合わせてドナー登録会も開催している。
- 「骨髄バンク講演会」の受講者からは、「医療機器メーカーの社員としてどうあるべきか見えた」「病魔の克服に貢献できるようドナー登録したい」「一歩踏み出す大切さを学んだ」などの感想があり、ドナー登録について考える良い機会となっている。

## 企業概要

[ 設立 ] 1951年  
 [ 事業内容 ] 医療機器メーカー  
 [ 所在地 ] 東京都新宿区西落合1丁目  
 [ 従業員数 ] 3,358名（2018年3月31日現在）

[ 年次有給休暇の取得率 ] 44.8%  
 [ 年間休日数 ] 126日  
 [ URL ] <https://nihonkohden.co.jp/>

## 取組内容と特徴

### 骨髄ドナー休暇制度の概要

#### 【対象者】

勤続1年以上の正社員、常勤嘱託社員、臨時社員  
(休職中および直近1年間の出勤日数が就業日数の8割に  
満たない者は除く。)

#### 【適用範囲】

骨髄および末梢血幹細胞の提供に伴う通院・入院に要する  
期間(ドナー候補としての確認検査、採血後の健診を含む。)

#### 【付与日数】

最大10日(有給)

#### 【取得単位】

半日もしくは1日

#### 【申請方法】

- ①ドナー候補者になったら申請書と証明書を提出
- ②ドナーとしての確認検査から採血後健診まで終了したら  
報告書と証明書を提出

### 社会貢献活動の一環として骨髄ドナー休暇制度を導入

- ・骨髄ドナー休暇は、骨髄移植のための骨髄・末梢血幹細胞の提供に要する期間を特別休暇として取り扱い、就業上の負担を軽減し、ドナーとなる社員への支援を行うものである。
- ・移植を必要としている患者さんが、毎年少なくとも2,000人を超えと言われており、骨髄ドナー休暇が「ドナー登録の啓発」「ドナー候補者への職場の理解」という環境面での支援につながればと願い、骨髄バンクへの登録や骨髄および末梢血幹細胞移植に関する見識を深めて頂くために

「日本骨髄バンク講習会」を社内で平成27年から開催し、新入社員向けの骨髄ドナー説明会を平成28年から毎年開催している。また、本社や工場で行っている献血会に合わせてドナー登録会を開催している。

- ・その他、社会貢献活動を支援する特別休暇制度として、1年間で通算5日まで利用できるボランティア休暇制度がある。勤続1年以上の全社員が対象で、地域貢献活動や社会福祉活動、自然・環境保護活動、災害地復興支援活動などに利用されている。

### 働き方改革への取組

- ・同社では、業務改善や柔軟な働き方で、長時間労働に依存せず最大限の成果を上げるとともに、ワーク・ライフ・バランスを実現した働き方を目指すため、「働き方改革」に取り組んでいる。平成29年から「働き方改革推進プロジェクト」を設置して、業務改善活動や働きやすい制度づくりについて様々な職場からなる構成員で検討し、「フレックスタイム制度」や「在宅勤務制度」を平成30年に導入開始している。
- ・また、時間単位の年次有給休暇制度を導入し、より柔軟な働き方を実現させるとともに、定時退社日の徹底、年次有給休暇の取得促進などを通じて、ワーク・ライフ・バランスに向けた業務効率化、創造性向上を推進している。さらに、労働時間を削減してプライベート時間を創出することで、自己投資、自己研鑽、人脈形成、健康管理、家族サービス、趣味、ボランティア活動として有効活用してもらい、社員一人ひとりが、健康で豊かな生活を実現していく「健康経営」を推進している。

#### 富岡物流センター Aさん

#### 制度利用者の声

平成27年秋、骨髄ドナー休暇制度を利用して骨髄提供したAさんは、「提供に迷いはなかったのですが、休める環境があったから提供できたと思います。」と当時を振り返っています。

有給休暇等の休みが取りやすい会社ですが、さらに上司や同僚もAさんを快く送り出してくれたからと言っています。「上司に適合したことを報告した時、“すごいね”と言われました。」と当時を思い出します。

骨髄ドナー休暇制度があるからとはいえ、極力、職場に迷惑がかからないように調整したそうです。「コーディネーターさんに月末の予定は避けてもらいました。会社が休みやすい環境を作ってくれないと、ドナーはなかなか提供できないと実感しています。」